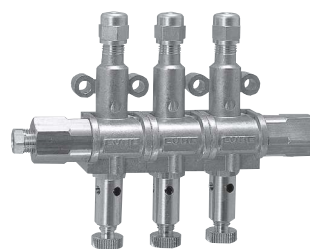


吐出量調整型定量バルブ

DVR 型

PM 型ポンプから圧送されるオイルを
定量吐出します。



型式

コードNO.	型式	口数	L ₁	L ₂
619041	DVR-1	1	71	—
619042	DVR-2	2	96	—
619043	DVR-3	3	121	27
619044	DVR-4	4	146	52
619045	DVR-5	5	171	77
619046	DVR-6	6	196	52
619047	DVR-7	7	221	77
619048	DVR-8	8	246	102
619049	DVR-9	9	271	127
619050	DVR-10	10	296	102

仕様

吐出油量	0.03、0.05、0.1、0.2、0.3、0.5cc/ストローク
作動圧力	1.2MPa
復帰圧力	0.5MPa

仕様

吐出量	ピストンストローク(mm)	L ₃ 寸法(mm)
0.5	10	10.6
0.3	6	6.6
0.2	4	4.6
0.1	2	2.6
0.05	1	1.6
0.03	0.6	1.2
0	0	0.6

定量バルブの作動原理図

定量バルブの作動原理図

- ①ポンプ運転開始よりチェックバルブ③が開く直前の状態
- ②圧力上昇により、チェックバルブ③が開き、ピストン①が押し上げられ、シリンダー内の潤滑油が噴き出します。
- ③ピストン①が規定ストローク動作すると、ピストン先端でシリンダー出口④をシートし、吐出完了となる。この①、②、③の動作で一定の給油量が吐出されたわけです。
- ④ポンプが停止し、脱圧機構が働き、配管内圧力が低下すると、定量バルブのピストン①はスプリング②により下方に押し下げられ、同時にピストン①とシリンダークリアランスより加圧口側の油(液)を計量蓄油します。
- ⑤ピストン①が規定ストローク復帰し、ピストン上部計量蓄油動作を完了し、次のサイクルに備えます。以上①～⑤の一連の動作で定量吐出をおこないます。

